



第16回 スマイル インタビュー



大竹川柳会について教えてください。

大竹市内4カ所に教室があり、会員は35名です。4月のお花見句会と11月の大竹市文化祭では合同で行っています。



4月10日開催の句会

市内の小学校では川柳が盛んですね。

大竹、玖波、栗谷小学校で現在教えていますので、よく「うちの孫が川柳で入選しました」「先生!!賞をもらったよ。」と声をかけていただけます。子ども達はとても楽しんで川柳を作っていますし、大勢の子が沢山受賞しています。

川柳の良さはなんでしょう。

川柳は俳句と違って人間のことを詠むものなので、実感したこと、経験したこと、思ったことなどをそのまま受け止めて書くものです。

嫌なことがあっても句を

作り言葉にすることで救われることも多くあると思います。「こめんねと言われてかえすいいんだよ」という子どもの句があります。この子は作ったことで勇気をだして謝る大切さに気付いたと思います。

会長が心に残っている句を教えてください。

秋山清紫 大竹川柳会の前会長の句で「明日の目を信じて明日の米をこぐ」ですね。希望のある小さな幸せが生き生きと描かれている句です。

中国新聞柳壇や全日本川柳大会ジュニアの選者など多くの選者をされており大変お忙しいでしょうが、これからの活躍も応援しています。



句会の様子

あとがき

予算が成立し人事異動も発せられ、大竹市役所も新しい年度が始まりました。議会事務局も局長の退職で入れ替わり、紅二点の新しい体制が出来上がりました。年4回市民の皆さまにお届けしている議会だよりですが、毎号お読み頂いていますでしょうか。

議会は、市民の付託を受けた定数16名の、それぞれ異なった価値観を持った議員集団で構成されています。そのため議会だよりの編集においても、お互いに牽制してしまう面があり、一般質問において、質問議員の名前さえ載せない時代も過去にはありました。

一方で、読者である市民の皆さまから見れば、どの議員が何を発言したのかについて、当然関心をお持ちだと思います。今は、市民の皆さまの意に添うよう、一般質問をした議員の顔写真を載せるなど、以前に比べれば議員個人を打ち出すようになってきました。さて、今月は「議会報告会」を開催

します。議会の報告に加え市民の皆さまとの意見交換の時間も予定しています。

会場に足を運んで下さった皆さまにとつて、よりわかりやすい議会報告会にしたいと考えています。

三度目の報告会へ、是非お越しください。お待ちしております。

広報広聴特別委員

委員長
副委員長

- 山崎 年一
- 和田 芳弘
- 末広 和基
- 賀屋 幸治
- 北地 一久
- 西村 啓
- 日域 究

市議会だよりは市のホームページにも掲載しています。

発行・平成29年5月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方一丁目11-1

TEL

0827-15912183